

アフガニスタンに 井戸を掘る

内容紹介

2000年、未曾有の旱魃により百万人が飢餓線上をさまようアフガニスタンで、日本のNGOが井戸を掘り、水路を開く活動を開始。1000以上の井戸によって、緑の大地が蘇る。「誰もが行きたくない所に行き、誰もがやりたくないことをする」ユニークなNGOネットワーク会の活動について、現地代表中村哲医師にお話をいただきます。

略歴

ネットワーク会 現地代表。
PMS(ネットワーク会医療サービス) 総院長。
1946年 福岡生まれ。
九州大学医学部卒。専攻は神経内科(現地では内科、外科も)。
国内の診療所勤務を経て、1984年、アフガニスタン北西辺境州の
州都ネットワーク会に赴任。ハンセン病を中心とした
アフガニスタン難民の診療に携り現在に至る。
2003年 マグサイサイ賞受賞。

日時

2007年5月23日(水) 13:00-14:30

会場

京都文教大学弘誓館G101 (西鉄向島駅からスクールバス5分)

※自車での来場はご遠慮ください。
※入場無料、直接会場にお越しください。

主催

京都文教大学人文学部現代社会学科・学生課共催

問い合わせ

京都文教大学学生課 (0774-25-2497)

